

身近な地域の 地理や歴史（郷土史） を調べる

大島登志彦

私は、当冊子にも授業のシラバス等にも記されている通り、日本地誌・世界地誌・交通論の授業を担当している。精力的に勉強してきた分野は、高等学校の科目では地理、特に身近な地域の交通や産業史と関連する交通地理や産業考古学と言われる分野である。

地理・歴史の勉強を手がけると、自ずから身近な地域の郷土史に興味がわいてくる。小学生の社会科で、在住する市町村や県の歴史を、資料館を見学したり、おじいさん・おばあさんの話を聞いたりして学ぶが、それは郷土史学習で重要なことである。当冊子は経済学部生向けの学習指針だが、経済学を学ぶ上で、郷土の地理・歴史学習は重要なことだし、ゼミナールでも、経済学とあわせて

地理や歴史も学べることをアピールしつつ、郷土史に関わるレポートや卒論を書く際の基本的ノウハウを記述してみた。

まず、地域の資料館や博物館を見学して、地域の特徴を概観することである。今は、各県毎に県立歴史博物館、市町村には歴史民俗資料館等が建設され、地域の特徴を物語る資料は多数展示されているので、とにかくそこに足を運んでみるのである。

次に、地元の図書館（大学の図書館等も含む）の郷土資料室（コーナー）で、自分の調べたい分野の本を探すことはいうまでもない。ただ、概して、県史や市町村史を概読することは必修であり、それだけで、かなり詳しい郷土史が学べるはずだ。

県史や市町村史は、昭和の合併期に数多く発刊されたが、当時は概して史料の収集が精力的になされなかった。昭和末期の折からのバブル経済期に多くの自治体が再度市町村史に取り組んだため、平成にかけて、数多くが新たに発刊されている。高崎市も、市史編さん室が組織されて、平成十六年までに、「新編 高崎市史」として本誌計約二〇巻が刊行された。

市町村史は、体裁やボリュームはまちまちだが、概説（通史）だけでなく、国や県の行政資料や昔の地主・名家の倉庫に保管されていた資料（〇〇家文書）がそのまま掲載される資料編のあるものが多い。それは、史実を裏付ける資料（当時の業務の申請書や許可証・古文書等）であり、研究の





TOSHIHIKO OSHIMA

経済学部教授。
交通論、日本地誌・世界地誌を担当。
東京学芸大学大学院修士課程教育学研究科地理学専攻を修了後、高等学校、高等専門学校に勤めた後、本学では7年目。主な研究課題は、地方鉄道や路線バスの変遷と地域社会の関係。

基礎資料でもある。それらの資料に関して、原物を直接調べたり、市町村史に掲載していない資料を調べるには、国や地域の行政資料や古文書等を専門収集している公文書館に向くことをお勧めする。公文書館は、概ね国・各都道府県等に立地し（文書館・歴史館等の名称）、過去にその地域の県庁・市役所・役所の資料や県史の調査で収集した史料等を保存・公開している（群馬県立文書館は欄外参照）。

郷土史の調査には、昔の写真や地図が貴重な資料になる場合も多い。市町村史や公文書館の資料には写真は少なく、ましては精度の高い地図については皆無である。昔の写真集は、市町村史編集室で別冊として刊行されることもあるが、地元の出版社が、各所で古い写真を集めて、発刊する場合が多い。その発刊状況は書店ではつかみにくい

が、地元の公立図書館には揃っているので、そこで閲覧・発刊状況（出版社や編者）を記録して、必要に応じて書店注文すれば、入手できよう。過去の地図も欠かせない。例えば、信越線横川〜軽井沢間の鉄道や高崎市内でチンチン電車はどこを走っていたのか、昔の高崎市内の道路はどうだったのか、等を調べるにはどうしたらよいのだろうか。現地調査が大切なことはもちろんだが、当時の地図で確認するのも大事である。ただし昔の地図は、図書館や資料館では系統的には揃っていないし、もちろん今書店で購入することは不可能である。

私たちは、中学・高校の地理の授業で、地形図について、特徴・記号や見方を学習した。その地形図（日本全土の基本図であり、全土が五万分の一、二万五千分の一の同一の基準で作成）を作成

している国土交通省国土地理院の関東地方測量部（欄外参照）では、全国の歴代（改版毎に）地形図や空中写真等をマイクロフィルムで保存している。それは、一般人も閲覧可能で、地形図一枚分を五〇〇円でコピーしてもらえ（通常の地形図は一枚三〇〇円程度）。古地図は郷土の歴史を調べる際には必修なので、積極的な利用をお勧めしたい。昔使った地図が調査の重要な手がかりになることある。今の日本では、多くのものが手軽にふんだんに入手できるため、リサイクル社会とはいえ、使い終わったら捨てられる場合が多いであろうが、地図については、捨てずにとっておくことが大切である。

MEMO

- 群馬県立文書館
前橋市文京町3-27-26
〈電話〉027-221-2346
（群馬県内の昔の資料を探しているとき）
（全国の文書館はインターネットで検索可能）
- 国土交通省国土地理院の関東地方測量部
東京都千代田区九段南1-1-15
〈電話〉03-5213-2055
（昔の郷土の地図を見たいとき、全国の分がそろって業務等の概要はインターネットで紹介）